
宛名のない手紙(メール)～私の後悔～

百合茶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

宛名のない手紙^{メール}の後悔

【Nコード】

N1655B

【作者名】

百合茶

【あらすじ】

いじめられた過去もいじめた過去も裏切って、私はまた同じ過ちを犯しました。でも、私はちゃんと終らせるつもりです。誤って、落ちて拾って、逆転されて、立ち向かって……で、また落ちたけど……最後は全部拾って還すつもり。
(メール本文より)

はじめに

今、道徳にも自省論にも背いた事やってるんだ。ほんと、馬鹿だよネ…。

* * *

これは私、ゆりかが友人、あーちゃん宛てに送ったメールです。友達の間で、陰で『G』と言う呼んでいる人がいるのですが、私は彼女に対してひどい事をしました。

友人のアカが持ちかけた『ブラックメールでGをハメよう』という提案に乗ったのです。私は、友達の友達がメル友になりたがってる等とGにウソをつき、アカのサブアドでメールのやりとりをするよう、仕掛けました。最終目的は、Gが架空のメル友、ユウが好きになるよう仕向け、気持ちを確かめた途端、メールを打ち切る。と言う、ひどい企画でした。

いじめ問題で学校側が神経を尖らせている今、バレたら停学！という噂を聞き、私はアカに打ち切りを促しました。

4日間だけのメールでした。

アカはまだもの足りないようでしたが、私は違う意味で虚しくなってきました。

本当はアカに口止めされていたのですが、私は話さずにはいられなかったのです。放課後、友人のあーちゃんに一連の話を聞かせました。元々、マシンガン・トークで話を進める私は、心とは裏腹にベラベラと話しました。

以降はその後に書いたメールと補足です。

送信ボックスからほとんどそのままに載せました。

いじめっ子と、いじめられっ子の二つの過去に、私はどう弁解すれば良いのでしょうか…。

宛名のない手紙 1

1 1 / 1 3 2 1 : 1 4

T O あーちゃん

件名 さつきの話の続き

まあ…なんか一方的にアコが悪者に写ったかも知れないけど、結局ゆりかも悪魔だよな…。

ブラックメエルわテレビで見ても面白かったカラ、ちよつとやってみたい魅力があつたんよネ（マジ悪魔…）

Gの事が嫌い！って事も手伝って、話に乗っちゃった

とにかく！もう終わったカラ、Gにバレる可能性わ低いけど、誰かがバラす危険もあるさ…。それも含めて後悔わしてるヨ

それに、Gにバレるところか好評だったのわ成功だろうけど、なんか苦しいヨな…

ずっと嘘を突き通さなきゃいけないじゃん。もし、やり過ぎたのを償うとしたら、嘘を突き通す事しかないだろ？

そりゃ、Gわ嫌いだよ。嫌われて当然だから同情する必要もないかも知れない。だけど、気持ちを持て遊ぶ必要もなかったよな…。

今更言い訳じみて、馬鹿みたい。

今更後悔なんて、もつと馬鹿みたい。つてか馬鹿だ。

昔、いじめっ子やってて、後悔とか反省とかいっぱいして、今こうしてるなんてさ…学習能力ないよな。転校して、いじめられる側の気持ちも分かったヨ。

アコわ、いじめられて自殺する人を馬鹿みたい。と、言って笑うけど、正直、笑えなかった。自分が過去に誰かをそうさせようとしていたのかも知れないんだから…。

Gが自殺するかも。とか、そんなんじゃない。自分が最悪なヤツになるのが怖いのかな…？

こんな事、あーちゃんにしか打ち明けられんケド

Gにわもう、ちよっかい出さんつもり。そりゃ文句わ云うだろうケド、ハメようとか、嫌がらせやろうとか…そういう事、出来ない。矛盾してるケド…楽しさより、今わ疲れた。

なんか、同じ話題なのに、Gとアコとあーちゃんとで、話す態度が全然違う自分に疲れた…。

結局わ本音わメエルだったりする。

結果的に偽のメル友【ユウ】わ、アコとGにイイ話題を持ってきた。そして、嘘を突き通すと云う使命もくれた訳だ。これで終ればそれでイイ。

忘れられない言葉と過去

あーちゃんからも長いメールがきた。

しかし、彼女のメールをここに載せる訳にはいかない。なにしろ、了承を得ていないのだから。（もちろんそういう事もあり、私の名前以外は皆仮名。）

あーちゃんからのメールで印象に残る言葉。

『おまえ、最低だな。おまえなら分かってくれと信じて、自分がいじめられて苦しかった事を打ち明けたのに、何聞いてたんだよ？ やっぱり、人をいじめるようなヤツには届かないのかな？』

『正直、おまえの口からあんな話を聞かされてショックだった。でも、おまえが自分のやった事を後悔してくれて嬉しい。苦しんでほしい。とかじゃなくて…分かってほしい。いじめられる側の事も。』そして、最後にあーちゃんは言い放った。

『おまえがアコと一緒にGをハメた事、一生忘れんから。こんなんだったら、まだGの方がマシだよ。』

心臓を杭で貫かれたようだった。涙がだらだら流れた。苦しかった。私はGをハメる事で、大事な親友まで傷つけていた…。

あーちゃんが中学校時代、いじめられていた話は去年のちょうど今頃、バス停近くのクリーニング屋で、店前の段差に並んで座って聞いていた。

『分かるよ。私も昔、いじめられた事あるから…。』
なんて言って、私の過去も少し話した。
でも、結局なにも分かかっていなかったんだ。

私が小学校最後の1年を過ごした学校は、地元意識の強い、馴染み

にくい所だった。隣町なのに、方言を頻繁に使う田舎の学校で、まるで話を通じなかった。前の学校とは正反対な、無口な子を演じていると、すれちがう度に馬鹿にされるようになった。田舎者に田舎者扱いされる事ほど腹の立つ事はない。

元々、いじめっ子だった事で、十分口が悪かったのでエスカレートする事はなかったのだが、私は過去にそれ以上の事をしてきたのだ。

宛名のない手紙 2

11/14 06:29

to あーちゃん

件名 NOT TITLE

そうだよ。

ゆりかわ最低ダヨ。

口が悪いし性格も悪い。直したいと思うケド…自分を守りたいのかな…？どうしても、表沙汰わ強い人でいたい。

でも結局、全然強くない。アコの提案に乗っちゃったんだから。断って、『気が小さいヤツ』と思われるのが嫌だったのかも知れない。くだらないよな。そんなんで、自分守ったつもりでいるんだから。

昔、いじめられてた。

いじめっ子だったのに、転校したら世界がひっくり返ってた。んだから。

昔、いじめられてた。

いじめっ子だったのに、転校したら世界がひっくり返ってた。でも、元いじめっ子だったおかげで助かった。

『ふざけんな！消えやがれっ！』

すれちがう度に言ってた。小6の1年間、親友どころか友達さえもいなかった。

強がり言ってたケド、正直寂しかった。

だから、アイツら（いじめっ子）に言い返しながら泣いた事もある。な、弱いだろう？暴言吐きながら泣いてるんだぜ？あの時、かつこ悪かった…。でも、これで先生が駆けつけて、アイツらわこっぴどく叱られた訳で。

でも、アイツらわ分かりやすくてまだ良かった。中にわ主犯格が把握出来んのもあって。いじめの中で、ヒソヒソ隠れて、ねちねちした事するのが一番タチ悪い。

そして、今。

その『主犯格が把握出来ん』事してる。

なんだよ、一番タチ悪い事を自分がやってるじゃん。まだ昔のいじめっ子時代の方がマシだよ。

昔、酷い事いっぱいした。

物隠したり、文句書くのわもちろん、その人をばい菌扱いしたゲームを流行らせた。

卑劣だけど、

清々堂々とやるのが『いじめ』なんだよ！

って、小4の時、みんなに言っただ。

で、今。道徳にも自省論にも反する事やってる。

馬鹿ダヨ。ヒソヒソのねちねちとそんなに変わんねえじゃん。

嫌いだから嫌う。

そんな仲間に嫌われたくないカラ乗る。

嫌ってる事がバレるのが嫌で、本人の前でわ友達ぶる。

自分を守るため。

あーちゃんに恨まれても仕方ないヨ。

Gハメただけじゃなく、あーちゃんの事も踏みにじったんだから。

ついでに、過去の自分も踏みにじった。

馬鹿ダヨね。

いじめを両方の立場カラ体験した人って、早々いないのに、どちらにとっても不利益な事しか出来ないなんて。

いじめっ子として、清々堂々と喧嘩する事も、いじめられっ子とし

て、止める事も出来ない。

提案したアコよりダメな自分…。

アコわロンブー解散するのが嫌だったみたい。ゆりかわメエルで

もう、解散しましょ。ある意味成功したんだから。後わ嘘を突き通すだけさ…。

って言った。嘘を突き通すのが代償。ブラックメエルの橋架けをした代償。アコわこっこの意図を読みとったかな？二人で代償を払いましょう。って云うメツセージ…。
きつと、届いてない。

その代償に加えて更に代償がアコからの一言。

これからも『2号』って呼ぶからさ

ロンブー2号。つまり、ブラックメエルの名残りわ続く。

アコがそう呼ぶ度、思い出す代償。

じくじく突き刺さる代償。結局、Gわ良いメル友だったと信じてるうちわ幸せ。アコわ、4日間ロンブー組めて楽しかっただろう。その板挟みになって双方の代償払ってるのわ、最低で最悪な自分。

この件わ嘘を突き通さなきゃいけない。
バれるのが怖いと云うよりむしろ、これ以上Gを傷つけるのが怖いから。

聞いてくれてありがとう。
こんなヤツでごめん。

あーちゃんからの『宛名のない手紙』

あーちゃんはGに謝るべきだと言った。

メールではいろいろ語るけど、たまに移動教室ですれちがってもお互い声をかけれない。

ちょうどその頃、りえから『宛名のない手紙』を受け取った。あーちゃんがみんなに過去の事を訴えるために書いたもので、そこには自殺も考えた。と書かれていた。

私はあーちゃんが生きてて良かった。じゃなきゃ、高校でこんな良いヤツに出会えてなかった。私が本音を語れる人なんて、早々ないんだから…。

あーちゃんからの『宛名のない手紙』

中学時代、いじめられて、本気でこの世界が嫌になった。

こんな奴らと高校で顔を会わせたくない。

と、思つて（出身中学の）みんなが行くH高を避けてこの高校にきた。

でも昔の事があつたから、またいじめられたらどうしよう。とか、こんな性格じゃ友達できないかも。とか、めっちゃ不安だった。だけど、1年4組でりえ達に出会い、部活でゆりか達に出会えて、やつと出身中の人も普通に接つする事ができた。正直、あの頃は自殺も考えていて、遺書も書いてたのに、死ぬ勇気がなくて…。今はみんなに感謝してる。

なんで急にこんな話を始めたのか。

つて言つと、最近クラスの人（2年8組）がAが列に並ぼうとしたら前を空けてくれなくて…。

Aが私と一緒にいるせいでいじめられたら嫌だなあ。

自分がされる事はもう経験済みだけど、自分のせいで友達を巻き込

むのは耐えられない……。Aのためにも、みんなのためにもクラス替えまで、9組や5組に行くの止めた方がいいのかな。Aに相談したら、気にしないでいいよ。って言うてくれた。Aは誰に対しても優しいよね。だから余計、巻き込みたくない。

この手紙が『宛名のない』のは、事実をみんなに知ってほしいから。もう、こんなキタナイものはなくしてほしいから。

宛名のない手紙 3

11/14 16:21

to あーちゃん

件名 Re

もう何が何だか分からん。

謝らなかつたら責任のがれ

でも、Gにとって『知らぬが仏』だったら？
全て話すならアコも裏切らないといけない。

なんて言えればいい？

そんな事、訊く宛もない。

いじめっ子が自殺する事ってないのかな？
いじめても後ろめたさのない人達わ、何にも考えてないだろうな。
そもそも、何か共通のものを敵にして、一つになっている『小さな
魚の兄弟たち』に、そんな勇氣、ある訳ないか。

今更の話、

最初から関わらなければよかった。

Gってあだ名も使わなければよかった。

そうやって呼んでるのを知らなければよかった。

でも、何に対しても『中立』でいる事なんて、無理に等しいんだよ。
『はざま』って疲れるからね。

『私は中立。私は悪くない。』
それもまた冷たい話。曖昧だから、いいかげん境界線を引きたいけれど…

どこからが境界線？

陰で悪口たたくのは、相手にバレないうちわセーフ？バレたらアウト？

事の発端はGの悪口からだった。嫌いなヤツだから、ちょっとからかってみてもいいかな？そんな軽いノリがエスカレートしていく。アコだって、罪悪感ないだろうし。ずっと黙っていればブラックメルもセーフになるというわけじゃないけれど…。

何が何だか、今わまだ分からない。

この、抜けた頭じゃすぐにわ解決できない。

時が来たら…

いつか謝りたい。全部言いたい。

何とかして、蹴りわ着けるつもり。

宛名のない手紙 3（後書き）

メール本文中の『小さな魚の兄弟たち』は、レオ・レオニー作『スイミー』の引用です。

小さな魚の兄弟たちは、協力して大きな魚に見えるように泳いで、恐ろしい大魚を追ひ払います。

宛名のない手紙 4

今、脳無い会議（脳内会議）が終了しました。
そんな何時間も悩んだ訳じゃないケド…。

『ごつめ〜ん！ユウって友達、実わいないんだあ〜！てへっ
てへっ　じゃねえヨ！！
まず、このノリわ却下だ…。そんなに軽く騙しちゃダメでしょ…。

とにかく、今日1日死んだ魚になって、ようやく復活してきたので
…。

『実わアレ…ブラックメエルだったんです！ごめんなさい！』
誠実。一番誠実。

でも、堅いな。当たったら痛いな…。確かに真面目過ぎもダメだな…

謝るとしたら…（もう決定済みですが…）
月曜の放課後がいいよなあ。だって、月曜わ部活OFFだし、Gの
バスわ5時まで来ないしさ。
まあ、詳しい事わまた後ほど…

マシンガン・トークで話に乗せて謝るか！？
マシンガン…
肝心な所で噤んだら終わりだけど…（没）

とにかく
あーちゃんが裁判長（またわ会議長？）をやってくれたおかげで、
脳無い会議を円滑に進められました。

もう少し落ち着いたら、アコにも本音を語るつもり。あいつが分かってくればいいけれど…。ゆりかが分かかってなかったんだから、無理かも知れない。でも、躊躇^{ためら}う事くらいはしてほしい。前のメルで『小さな魚の兄弟たち』に喻えたじゃん。裏を返せば、みんな一人でわ『小さな魚』なんだから、集まればデカい魚も追い払えるよな。その時わあーちゃんが目になってくれよ。ちよつと喻えがまどろっこしいけど。

P・S

宛名のない手紙、どおする？

一応、机の中に折り曲げないように保管してるけど。

宛名のない手紙 4（後書き）

私は早ければ来る月曜日、あーちゃんと一緒にGのところへ謝りに行きます。

ただ、残念な事に、ブラックメエルの話を持ち出さなくなったアコが、私に隠れて他の人とブラックメエルを再開する兆しがあるようです。もちろん、私には事の真偽は分かりません。ただ、分かっているのは、食い止めなきゃいけない。ただそれだけなのです。

宛名のない手紙。と、言うよりも『宛名のないメール』。あなたには届きましたか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1655b/>

宛名のない手紙(メール)～私の後悔～

2010年10月23日12時29分発行